

## 2025(令和7)年度 学外公募資金交付決定一覧

総合研究所事務課

## 2025(令和7)年度 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）〈研究代表者〉（35件）

2025(令和7)年7月31日現在

種 別	氏 名	学 部	研 究 課 題 名	採 択	研究期間
基盤研究 (B)	岩田 和之	経 済	仮想通貨と既存通貨の中長期的なエネルギー消費の比較研究	継 続	R6-R7
	小松 洋	人 文	持続可能な社会構築に向けた環境社会学的実証研究：変動期における人々の意識と行動	継 続	R6-R7
	槻木 玲美	法	堆積物DNAを用いた過去1000年にわたる湖沼生態系のレジリエンス評価	新 規	R7-R9
基盤研究 (C)	井上 正夫	経 済	日本中世の為替と近世初期の紙幣との連続性及び相違性について	新 規	R7-R9
	岩崎 真紀	経 済	欧州と中東のサッカーにみるエスニシティの多様化に関する国際比較研究	新 規	R7-R11
	川村 朋貴	経 済	近代南アジア世界における英系植民地銀行・金融ネットワークの形成史	継 続	R6-R8
	溝渕 健一	経 済	時間リバウンド効果の定量研究 -時短製品の配布実験による検証-	継 続	R6-R8
	吉田 隆	経 済	金融制度改革から企業が得る資金調達上の便益の実証分析	新 規	R7-R9
	池上 真人	経 営	理解と定着を促進する新しい復習課題提示システムの開発	継 続	R4-R6
	伊藤 照明	経 営	感情投影を誘発する生物的な動きで遠隔者とのかかわりを実感させるインタフェース	継 続	R4-R7
	神谷 厚徳	経 営	英語のリスニング能力に影響を及ぼす意義群と呼気群の確定を可能とする教材開発	継 続	R5-R7
	福田 昇	経 営	プレゼンで表象的ジェスチャーとビートジェスチャーを行う学習者の発話力と社会性	継 続	R6-R8
	細川 美苗	経 営	イギリス・ロマン派第二世代詩人の死と神話形成	継 続	R4-R7
	遠藤 泰弘	法	「危機」における議会制デモクラシーと政治指導：プロイス・ケルゼン・シュミット	継 続	R4-R7

種 別	氏 名	学 部	研 究 課 題 名	採 択	研究期間
基盤研究 (C)	天倉 吉章	薬	機能性食品の品質保証に向けた高分子量コンデンスドタンニンの標準品化に関する研究	継 続	R5-R7
	奥山 聡	薬	ダブルコンジェニック SHRSP/Izmを用いた河内晩柑果皮の脳血管障害防御機構の解析	継 続	R5-R7
	澤本 篤志	薬	脂肪組織線維化機構の解明と創薬への展開	新 規	R7-R9
	田邊 知孝	薬	腸炎ビブリオのシデロフォア生合成酵素の機能解明：新規細菌増殖抑制剤の開発に向けて	継 続	R5-R7
	長岡 憲次郎	薬	ラクトフェリンが粘膜組織にもたらす免疫変容の機序解明～IBDとの関連性～	継 続	R4-R7
挑戦的研究 (萌芽)	岩田 和之	経 済	災害対策としての歴史的・文化的資産の利用可能性	継 続	R4-R6
	槻木 玲美	法	海棲哺乳類は化学汚染によるボトルネックを経験したか？：堆積物DNAからの検証	新 規	R7-R9
	玉井 栄治	薬	ウエルシュ菌自己溶菌酵素Acpによる新規ペプチドグリカン分解制御機構の解明	継 続	R5-R7

種 別	氏 名	学 部	研 究 課 題 名	採 択	研究期間
若手研究	北井 万裕子	経 済	「革新的イノベーション」の創出に対するソーシャルキャピタルの役割についての分析	新 規	R7-R10
	西村 嘉人	経 済	英語ライティング能力における機能的達成度の重要性	継 続	R6-R8
	前田 啓貴	経 済	外国語教育における非認知能力の役割の解明：認知欲求に焦点を当てて	継 続	R6-R9
	望月 雄介	経 済	中国語学習者のための実用的な談話標識ハンドブックの開発	継 続	R5-R7
	伊勢本 大	経 営	早期離職をした元教師へのライフヒストリー・アプローチ	継 続	R6-R9
	岩崎 瑛美	経 営	税制が多国籍企業の無形資産の保有地選択に与える影響	継 続	R4-R7
	橋崎 諒太郎	経 営	発音のわかりやすさの最適な学習方法の探求	新 規	R7-R9
	日原 尚吾	経 営	青年のデジタルコミュニケーションがアイデンティティ発達に果たす役割の体系的な研究	継 続	R5-R7
	山崎 義広	経 営	自然資産によるインターナル・ブランディングと地域愛着の解明	継 続	R5-R7
	河村 裕樹	人 文	治療文化としての精神医療実践の社会学的研究	継 続	R5-R9
	浦山 康洋	情 報	AR技術によるパケットの可視化を利用したネットワーク学習用演習教材の開発	継 続	R4-R7
研究活動スタート支援	橋崎 諒太郎	経 営	最適な連語表現学習方法の探求	継 続	R6-R7
	大石 茜	人 文	帝国日本における朝鮮人向け保育の研究	継 続	R6-R7

2025（令和7）年度 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）〈研究分担者〉（24件）

種 別	氏 名	学 部	研 究 課 題 名	採 択	研究期間
基盤研究(B)	前田 啓貴	経 済	スピーキング評価における評価の厳しさ変動を観測し信頼性を高める方法	継 続	R6-R9
	阿部 大輔	経 営	日本語母語英語学習者の第二言語処理運用能力の発達：習得から習熟へ	継 続	R6-R10
	伊勢本 大	経 営	教師像・教師言説の「拡散」による教師研究と教育実践のリコンストラクション	新 規	R7-R10
	井上 快	経 営	日本型学校教育を支える教員養成・教師教育における教育学の役割に関する歴史的研究	新 規	R7-R10
	加藤 大智	経 営	原価の透明性がサプライチェーンの持続可能性に及ぼす影響に関する学際的研究	継 続	R6-R7
	日原 尚吾	経 営	青年期アイデンティティ形成のメカニズムの解明と介入に関する複合的研究	継 続	R6-R7
	湊 圭史	人 文	豪マイノリティ作家の21世紀の課題解決に向けたネオ・コスモポリタニズム文学研究	継 続	R4-R7
	大石 茜	人 文	帝国日本の児童保護史研究—帝国内外移動を通じた子どもの保護と帝国秩序の形成	新 規	R7-R10
	大倉 祐二	人 文	山谷と釜ヶ崎—都市底辺層の構造と変容	継 続	R6-R7
	河村 裕樹	人 文	ダルクにおける就労支援の位置づけと実践的方法論の複合的包括的なミクロ社会学研究	継 続	R6-R8
	小松 洋	人 文	環境意識と環境配慮行動の測定方法の確立と調査実践：持続可能な社会に向けた環境調査	継 続	R3-R7
松浦 一雄	情 報	Peer to Peer多相水素エネルギーシステムに関する連成科学的アプローチ	継 続	R6-R7	

種 別	氏 名	学 部	研 究 課 題 名	採 択	研究期間
基盤研究 (C)	山本 昌弘	経 済	個別経営卓越地域における組織経営の展開に関する研究	新 規	R7-R9
	片岡 亮太	経 営	管理会計情報がマネジャー・従業員の行動選択に与える影響に関する研究	新 規	R7-R10
	Eleanor CARSON	人 文	Clarifying the Factors Behind Changes in Willingness to Communicate and International Posture in University Students	継 続	R5-R7
	田中 英登	人 文	熱中症予防支援システム構築のための人-被服-環境系の最適化	継 続	R5-R7
	大石 茜	人 文	引揚孤児の救済保護に関する研究	新 規	R7-R9
	伊藤 亮平	法	中世ドイツの魔的エロスと遊戯的コスモポリタニズム — 帝国内の異教徒たち	新 規	R7-R9
	井上 一洋	法	女性差別の行為論的分析—ヘイトスピーチ/ハラスメント/マイクロアグレッション	新 規	R7-R9
	遠藤 泰弘	法	政治理論とインテレクチュアル・ヒストリー	継 続	R4-R7
	玉井 栄治	薬	X線構造とクライオ電顕による病原性細菌線毛の動的立体構造と宿主細胞接着機構の解明	継 続	R5-R7
	長岡 憲次郎	薬	異物代謝酵素の多様性に基づく化学物質のオーダーメイド型リスク評価システムの構築	継 続	R5-R7
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(B))	小林 拓磨	経 済	新興国多国籍企業理論構築と国際分業構造変化分析のための国際共同研究	継 続	R4-R8
	新井 雄喜	人 文	零細漁村の貧困削減と持続的資源管理手法の開発：タイを事例としたフィールド実験研究	継 続	R3-R7

2025（令和7）年度 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）〈研究分担者〉（3件）

種 別	氏 名	学 部	研 究 課 題 名	採 択	研究期間
基盤研究（A）	川村 朋貴	経 済	中印モデル創生によるグローバル比較史の刷新－「先進国」モデルからの脱却	新 規	R7-R10
	黒田 晴之	経 済	多様性尊重の深化に伴う科学的分類の再検討と再構築	継 続	R6-R8
	河村 裕樹	人 文	法と医療・ケアの実践的基盤－身体と規範のエスノメソドロジー・会話分析	継 続	R6-R9

2025（令和7）年度 消費者庁 食品衛生基準科学研究費補助金<研究分担者>

種 別	氏 名	学 部	研 究 課 題 名	採 択	研究期間
—	天倉 吉章	薬	既存添加物の品質確保に資する分析法開発のための研究	継 続	R5-R7

2025（令和7）年度 公益財団法人 日本食品化学研究振興財団 研究助成金

種 別	氏 名	学 部	研 究 課 題 名	採 択	研究期間
—	天倉 吉章	薬	食品添加物の品質評価における高分子量縮合型タンニン標準品調製に関する基礎検討	新 規	R7-R7

2025（令和7）年度 環境研究総合推進費<研究分担者>

種 別	氏 名	学 部	研 究 課 題 名	採 択	研究期間
—	槻木 玲美	法	豊かな瀬戸内海の実現に向けた最適栄養塩濃度の推定-播磨灘を例として-	新 規	R7-R9

【受託研究】

2025（令和7）年度 第一三共株式会社

種 別	氏 名	学 部	研 究 課 題 名	採 択	研究期間
—	渡邊 真一	薬	ハムスターでのイリノテカン誘発口内炎に対するステロイド含嗽の抑制効果	継 続	R4-R7

【共同研究】

2025（令和7）年度 株式会社ニプロン

種 別	氏 名	学 部	研 究 課 題 名	採 択	研究期間
—	小林 真也	情 報	再生可能エネルギー由来電力システムのシミュレーションモデルの開発	新 規	R7

2025（令和7）年度 学校法人北里研究所他

種 別	氏 名	学 部	研 究 課 題 名	採 択	研究期間
—	天倉 吉章	薬	EFEの活性成分EMCT (Ephedra Herb macromolecule condensed-tannin)の体内動態の解析	新 規	R7-R8